



# 田中よしゆき

**議会報告**  
後援会ニュース  
2022年6月号  
No.56  
編集発行人  
嘉麻市議会議員  
**田中 義幸**

1面 百条委員会・議案質疑  
2面 補正予算  
3面 一般質問  
4面 行政報告他

郵便受けに勝手に投函させていただきます。  
議会報告書を不要なお方は、郵便受け付近に置いていてください。次回回収し以降は投函いたしません。



## 本会議でも可決

証人喚問を受けた際虚偽の陳述をしたとして、赤間市長、白石元副市長そして市内建設業者2人を福岡地検に告発する議案が2022年6月28日百条委員会から出された。討論の後、採決が行われそれぞれ賛成多数で可決した。

今後は、議長名で福岡地方検察庁に告発することになる。なお、採決は議長と欠席議員を除く14人でおこなった。

## 採決の内容

この議案は、田川第一法律事務所の中村博則弁護士



絵 熊谷レン

に依頼して作成したものである。百条委員会では、官製談合に当たるので、建設業者Cも偽証で告発すべきと議決していたが、同弁護士は、議事録を精査した結果偽証は見当たらないと委員会に報告していた。

①「変な事せないかんです」と発言した」と証言した

②議員に示した文書について、議会から要求されていたにもかかわらず、

## 白石二郎元副市長

③「1社だけやらしてください」と発言したことを否定したことについて、複数

の同席していた議員が聞いていたこと。

### 採決結果

賛成11人(賛成討論3人)  
反対3人(反対討論なし)

と証言したこと。

③当初、「仲の良い3社のうち誰かが仕事を取ったときは仕事を回す、もし回さなかったら3000万円の違約金を払うと言った」と証言していた。しかし、その後、「誰がとっても仕事

# 市議会、市長と元副市長他を偽証で告発

嘉麻市議会は、赤間市長・白石元副市長と業者2人が偽証したとする議案を賛成多数で可決した

## 審議内容の要旨

### 赤間幸弘市長

①業者選考する方法について最終決定権者は市長にあるにもかかわらず、そうでないこと否定したこと。

②政治倫理に関する所管課は、総務課であるが管財課と証言したこと。

以上二点が偽証である。

### 採決結果

賛成10人(賛成討論4人)  
反対4人(反対討論3人)

議会から要求があったとして、業者を選考し評価点をつけて資料を出したと証言したこと。

### 建設業者A

①石原浩二議員の行動が、「政治倫理に抵触するのではないかと市長から聞いた」と証言しているにもかかわらず、「今初めて聞いた」と証言したこと。

②義務教育学校の建設について、建設業者Aの方から積極的に賛成してくれと働きかけているにもかかわらず、「石原浩二議員から先に賛成と言っているのでは

を回すのではなく、自分自身がとった場合の違約金である」と証言を変えたこと。

④「議長ポストと副議長ポストをあげるからと否決票を集めていると、石原浩二議員が言われた」と証言したことについて、石原浩二議員との話の内容は、議長に辞めてもらって否決票を増やすことだったと認められる。議長ポストと副議長ポストをあげるのと否決票を集めていると証言

したことは偽証である。

賛成11人(賛成討論3人)  
反対3人(反対討論なし)

### 採決結果



絵 熊谷レン

### 建設業者B

①「ジェネコン会社とも市ともほとんど打合せしていない」と証言したことについて、施設課長も副市長も「工期の問題がタイトだからデザインビルド方式を採用した」と証言しているのだから、契約後は直ちに市と業者が詳しい打ち合わせを行うはずであり、打合せをしていないと証言したことは偽証である。

### 採決結果

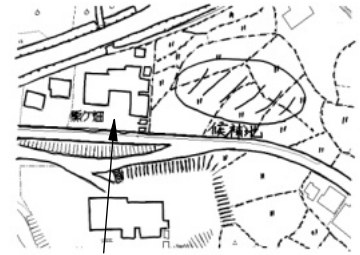
賛成10人(賛成討論2人)  
反対4人(反対討論なし)

# 熊ヶ畑、千手・泉河内地区に拠点施設建設

市は、熊ヶ畑地域小さな拠点施設整備等審議会条例と千手・泉河内地域小さな拠点施設整備等審議会条例を提出し、それぞれ全会一致で承認された。

## 熊ヶ畑地域

熊ヶ畑地域小さな拠点形成委員会は、22年4月25日市に対して熊ヶ畑地域新拠点に関する要望書（温浴施設と休憩室、地産材飲食レストラン、コミュニティカフェ、オートキャンプ場、キッチンカー、広場として公衆トイレなどを備えた施設整備計画）を提出した。



熊ヶ畑活性化センター

## 千手・泉河内地域

千手・泉河内地域小さな拠点形成委員会は、22年6月10日市に対して、千手・泉河内地域新拠点に関する要望書（農産物販売所、レストラン、避難所施設兼集会施設、防災設備、駐車場）としてイベント広場など道の駅機能を備えた施設整備計画）を提出。この整備計画の位置は、千手横町の西側を通過する国道322号線の農地が広がっている場所。千手小学校の解体撤去計画は続行する。



絵 熊谷レン

## 委員会での主な質疑

よしゆき 現在小さな拠点施設として取り組んでいるのは3団体だ。各地域で、このような拠点施設を作る動きになる可能性がある。財政が厳しい中ハード事業の財源はどうする。筑紫野市が取り組んでいる送迎バスなどのソフト事業を取り組むべきではないか。



絵 熊谷レン

千手郵便局

## 議案審議

### 国保条例改正

新型コロナウイルス感染症に感染するなどし、主たる生計維持者が死亡したり、重篤な傷病を負った世帯は、保険税を全額免除する。また、主たる生計維持者の収入が減少した場合も、保険税の一部を減額する。

### 介護保険条例改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合、介護保険料を減免する。

**対象者** 世帯主が死亡や重篤な傷病を負った第1号被保険者など。  
**減免期間** 22年4月1日から23年3月31日納期分。  
**全会一致可決**

### 18歳まで医療費無料

市は、子ども医療費の無料化を高校生までとする議案を提出し、全会一致で可決した。

### Q&A

よしゆき 高校生までとしているが、留年や諸般の事

情で18歳以上の方もいる。表現が適切ではない。

◎ 今後は、18歳に達する日以後の最初の3月31日までと表現を統一する。

全会一致可決



絵 熊谷レン

## 教育委員改正

22年7月3日で豊福眸子さんが任期満了になるので、新たに松岡瞳子（嘉穂中益）さんを任命する議案。

全会一致同意

### 嘉穂大隈分館移転

嘉穂ふるさと交流館が用途廃止・解体になることにより、嘉穂大隈分館（公民館）を夢サイトかほ内の嘉穂生涯学習センターに移転する議案。

全会一致可決

なお、休館日と開館時間等は嘉穂生涯学習センター条例に準ずる。



絵 熊谷レン

## 選挙管理委員選挙

選挙管理委員会委員と補充委員の選挙が行われ、ともに全会一致で当選した。

5531万9千円

### 選挙管理委員名簿

(全敬称略)

氏名	住所地	備考
佐々木義夫	上山田	再任
茅島伊津美	山野	再任
鎌田 秀子	上白井	新任
森 裕治	馬見	再任

### 同補充委員名簿

(全敬称略)

氏名	住所地	備考
坂口真理子	下山田	新任
野見山洋一	漆生	新任
鈴木 淑文	上白井	再任
篠崎眞由美	千手	新任

# 子育て世帯へ5万円給付

ひとり親と低所得の子育て世帯へ5万円の給付

## 一般会計補正1号

専決議案で全会一致承認

### ひとりの親世帯

#### 給付対象者

①22年4月分の児童扶養手当受給者。

②公的年金給付を受けていて、児童扶養手当を受給していない方。

③コロナの影響で家計が急変し、収入が児童扶養手当を受給している方と同じ水準になった方。  
(対象見込み1089人)

### 低所得世帯

3401万1千円

#### 給付対象者

①児童手当又は特別児童扶養手当の受給者で、22年度分の住民税非課税の方。

②22年度住民税均等割が非課税の方。

③コロナの影響で家計が急変し、22年度住民税均等割が非課税である方と同様の事情にあると認められる方。  
(対象見込み654人)

※児童扶養手当1人で子

供を育てる親へ経済的支援を行うための給付金。

※特別児童扶養手当110歳未満で精神または身体に障害を持つ児童養育者に支給。

## 一般会計補正2号

全会一致可決

### 電算システム標準化

191万4千円

国の指示で25年度までに、自治体情報システムを標準化する。そのシステムを改良するための委託料。

この電算システムは、各自治体が独自にメーカーに委託して開発している。標準化することで大幅な経費削減ができる。移行経費は約3億円とのこと。

### ツレテク事業

73万8千円

送迎バス借上げ費用。ソフトバンク(株)が30名の学生を派遣し、市の地域課題に対して解決策を提案する。移動経費で、他の経費はソフトバンクが負担する。

### 市勢要覧印刷費

144万9千円

市勢要覧の本編及びマップ編を3000部増刷する。

### 公共施設適正化方針

297万円

15年に作成した、公共施設適正化基本方針を改定する。

### コミュニティ助成金

460万円

○神幸行政区11獅子舞衣装、獅子頭補修などの備品整備。

○牛隈北区行政区11集会所のエアコン、テレビ、空気清浄機等の備品整備。

### 木城地区法面測量

1200万円

17年の大雨で法面陥没した、危険個所の対策工事を行う設計業務委託費。当該工事費は、独立行政法人(旧ネド)が全額負担。

### 拠点施設基本計画

1598万8千円

○熊ヶ畑地域  
○千手・泉河内地域  
○上山田地域  
の拠点施設基本計画策定費。

### サテライトオフィス

70万円

市をPRする動画を、YouTubeやSNS等に配信する団体へ補助金を交付。

### 子ども医療費

343万5千円

23年1月より18歳までの医療費を、全額無料にする経費。

### コロナワクチン接種

4646万2千円

ワクチン4回目接種事業。

### 保育所給食民間委託

3697万5千円

どんぐり保育所の給食を民間に委託する。

### 熊本共同作業所改修

408万4千円

確井熊本共同作業所のオーバードアを修理する。

### JAに施設整備費補助

5423万7千円

JAが取り組む省力栽培温室、果樹棚、降雨防止品質向上施設及び流通・加工施設の整備に補助する。全額県の補助事業。

### 畜産振興対策

2573万6千円

自給飼料の生産・利用に必要な機械を導入する経費の一部を支援。

### 神有線改良工事

1791万8千円

神有1号橋及び2号橋の取付護岸改良工事。

### プレミアム商品券

7000万円

今回の商品券は、全て抽選方式になる。

- ・商品券 1万冊
- ・電子商品券 1万冊
- ・プレミアム率30%
- ・7月1日〜同月31日受付
- ・8月中旬抽選
- ・9月1日利用開始

### 工場団地適地調査

690万4千円

20年に山野、熊ヶ畑、芥田、上山田、下山田の5箇所を工場団地として適地調査した。その結果、第1候補地と選定された山野地区について調査するもの。有効分譲面積10haを確保できれば、県の工業団地造成事業に採択の可能性がある。

### 漆生工業団地地質調査

1041万7千円

造成当時軟弱地盤とされた遊休地を再調査する。

### 一夜城まつり補助金

315万2千円

足場材の更新経費。

### 観光まちづくり事業

490万円

アドベンチャーレース(トレッキング・マウンティングバイク・パドリング・ロープワークなどで構成するチーム競技)を開催する業務委託。

### 定住促進

1億7000万円

子育て世代の転入促進を図る。

### 枝国・長谷・猪鹿線工事

2500万円

嘉穂才田地区の災害防止工事。



# 学校給食の民間委託

## 学校給食民間委託

2億6927万4千円  
(23年度から26年度までの継続費)

21年1月の学校給食運営審議会から学校給食の民間委託についての答申(正規調理員を採用し直営での給食調理が望ましいが、職員採用が困難な状況にあり、民間委託の導入も必要)を受け、教育委員会は、学校給食調理業務委託実施計画を立てた。民間委託に移行する学校は、別表の4校で23年度から実施する。

学校名	提供数
稲築西義務教育学校	800食
稲築東義務教育学校	550食
碓井義務教育学校	420食
嘉穂小学校	350食



絵 熊谷レン

## 温水プール改修工事

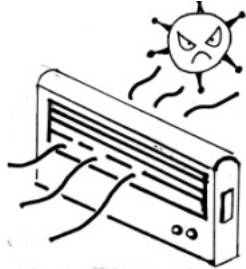
437万8千円  
スイミングプラザなつきの照明をLEDに交換。

## サルビアパーク改修

287万4千円  
給湯系の熱源更新。

## 自動券売機設置

5758万5千円  
稲築社会福祉センター、なつきの湯など15施設に設置する。



絵 熊谷レン

## 介護施設に陰圧装置

345万6千円  
感染拡大リスクを低減するため、ウイルスが外へ漏れないよう、居室等に陰圧装置を備えるとともに簡易ダクト工事等を行う。  
以上一般会計補正第2号

## 一般会計補正第3号

全会一致可決

1000万円

アウトドアシティ嘉麻の実現に向けた、看板商品の創出を図る事業。

○体験メニュー等の作成

○観光ホームページ改修

○予約システムの導入

○観光協会に委託予定。

## 国保会計補正第1号

専決議案で全会一致承認

国民健康保険事業特別会

計において、累積赤字分の3億1088万8千円を繰り上げ充用する。

## 行政報告

### 定年延長

21年6月法改正により、現行60歳定年を23年度から2年ごとに1歳づつ段階的に引き上げ、31年以降は65歳とする。以下改正内容。

○役員定年の導入

○定年前再任用短時間勤務制度の導入

○情報提供・意思確認制度の新設

○60歳に達した職員の給与に関する措置(60歳前の7割水準)

## 意見書

### 教職員定数と財源要求

①義務教育費国庫負担制度の国負担率2分の1への復元を行なう。

②教職員定数改善計画を策定し、教職員定数改善を行なう。

③学校現場における働き方改革等に向け、必要な予算を確保する。

④教育予算の策定を行なう。

田中義幸他8名が提出  
全会一致可決



絵 熊谷レン

### 地方財政の充実・強化

23年度の政府予算と地方財源の検討に当たっては、コロナ禍への対応を勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確率を目指すよう求める。  
全会一致可決

## こんなことを聞きました

### コロナ感染症問題

□ 新型コロナウィルスの感染状況を問う。

○ 6月時点で10歳以下が919人、20才から60歳未満が1063人、60歳以上が530人感染している。

□ 小・中学校の状況は。

○ 小学校は238人、中学校は61人となっている。

□ 市内クラスターの発生状況は。

○ 9件だ。

□ 市職員の状況は。

○ 18部署で51人が感染。

□ 全国民に10万円給付する、特別定額給付金の状況を問う。

○ 対象世帯数は、1万8610世帯で61世帯が未申請だ。うち32世帯は理由が判明しなかった。

□ 住民税非課税世帯と家計急変世帯に10万円給付する、臨時特別給付金の現状はどうなっているか。

○ 現在は184世帯が未申請である。給付予定者は7362世帯で、うち286世帯が未給付だ。

□ 緊急小口資金の返済を免除する特例措置の内容は。

○ 詳細は把握していない。

□ 自立支援給付金制度の内容は。

○ 社協の特定貸付けを受けたが、なお生活に困窮している世帯に最大10万円を3か月間支給する。

□ 国民健康保険税の納税猶予と減免措置の状況は。

○ 収入が減少した被保険者61世帯に、1427万7900円を減免した。

□ 住居確保給付金の状況は、どうなっているか。

○ 給付期間は最長9か月で、支給額は単身世帯で3万2000円だ。21年度実績は1人で、28万8000円を支給した。

□ 雇用調整助成金の不正は570社、持続化給付金の不正受給は1266社である。不正金額は、12億7657万3000円に上る。知らずに犯罪をしている場合もある。国レベルの検証が必要だ。



絵 熊谷レン